

平成 30 年 3 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 30 年 3 月 29 日 (木) 午前 9 時 00 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 301

3 出席委員の氏名

教育長	仲野 孝	委員	黒川 優子
委員	山崎 克弥	委員	中野 信男
委員	秦 久美子		

4 欠席委員の氏名

教育長職務代理者 齋藤 和夫

5 説明のため出席した職員

教育次長	山田 公一	主 幹	長谷川 智
学校教育課長	堀 克彦	子育て支援課長	白井 健次
社会教育課長	宮路 一規	統括指導主事	杵淵 貢
指導主事	大井 玲子		

6 本委員会書記

学校教育課 太田 和行 他1名

7 傍聴人

1名

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案

- 議案第 8 号 燕市教育行政評価委員の委嘱について
- 議案第 9 号 燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について
- 議案第 10 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について
- 議案第 11 号 燕市立学校教職員安全衛生管理規則の一部改正について
- 議案第 12 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について
- 議案第 13 号 燕市立小中学校における事務長および事務主任の任命について

その他

- (1) 平成 30 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
 - 1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について
 - 2) 一般質問の概要
- (2) 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について

9 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午前9時00分～

2. 会議録署名委員の指名 秦 久美子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について
 〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告
 〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 平成29年度最後の定例教育委員会となった。委員の皆様には、この1年様々な課題を共有していただきながら、教育行政を進めることができた。また、園や学校などでは、関係者の尽力により大きな事故などもなく、園児や児童生徒が健やかに成長し、卒業や進級したと考えている。
- 平成30年度も委員の皆様のご支援やご協力をいただきながら、さらに各園や各学校が飛躍する1年となるよう、縁の下となってしっかり支援したい。

2 平成30年第1回市議会定例会における主な一般質問

- 子育て支援と少子化対策について
- 学校教育について
- 地域に根ざす学校応援団事業について
- 通学路の安全対策について
- 学校での心肺蘇生教育の普及促進と危機管理体制の整備について
- 学校給食の地産地消の実態について
- 本市の保育環境に係る施設整備について
- 1号認定児(短時間保育)の保障と隠れ待機児童について
- 公立幼稚園の今後について
- 教職員の働き方改革やキッズウィークについて
- 食育研修会について
- 就学援助制度の一層の充実について

3 平成29年度末・平成30年初の人事異動

(1) 教育委員会

- 4月1日付異動者は235人であり、3月31日付での退職者は34人、新採用者は34人の規模であった。新年度の職員数は632人で、この中には再任用

フルタイム職員や任期付職員も含まれている。

- 今年の人事異動の特徴は、筆頭部長制の導入や新潟県職員を農政課長に登用したこと、外部人材を保育園長に登用したことや幼稚園副園長をはじめて定年延長としたことなどである。
- 教育委員会は、昨年度より規模の大きい人事異動となり、課長では、学校教育課長と社会教育課長が異動することになった。また、割愛人事では主幹が新潟市立小学校へ、統括指導主事が十日町市立中学校へ転出する。

(2) 小中学校

- 小中学校合わせて3人の校長が転入し、そのうち新任が1人である。また、8人の教頭が転入し、そのうち4人が新任である。
- 教諭等では、小学校で60人、中学校で28人が転入する。なお、新採用教諭は、小学校で16人(3人は養護教諭)、中学校で3人を迎えることになった。

4 3月の行事報告

(1) 食物アレルギー保護者情報交換会(3/9)

- 児童生徒数が減少する中、食物アレルギーをもつ児童が増加する傾向にあり、保護者の声を聞くため、情報交換会に教育次長とともに出席した。
- 保護者の仕事にも配慮し、午後の部と夜の部の2回を行い、今後の食物アレルギーに関するご要望やご意見を伺うことができた。

(2) 吉田高校サポート協議会準備委員会(3/26)

- 市内高校の特色化に向けて標記の委員会を開催した。委員は商工会議所や商工会、福祉会などとしており、いよいよ本格始動することになる。
- 吉田高校の特色化は、産業界がインターンシップやマナー講習会、面接指導などこれまで学校の教職員が行っていたものを、産業界の力を借りてさらに効果的に行うことにより、将来は地元や県内などの様々な分野で活躍する人材を育成したいとしている。

(3) 第3回吉田西太田保育園の民営化移行に伴う保護者・地域説明会(3/18)

- 昨年7月から約8ヶ月間で6回の三者協議会を実施し、民営化に向けての協議が終了したことから、3回目の保護者・地域説明会を開催し、保護者や地域の皆様にこれまで決定した内容を説明させていただいた。
- 保護者や地域の皆様には新しい「きららにこここ保育園」の運営全般についてご理解をいただいたものと考えており、4月からは、園の運営に係る引き継ぎを行い、来年2月頃からは保育士による引き継ぎ保育が始まる。

5 教職員の働き方改革に向けて

(1) イクボス宣言

- 市の三役及び部長・課長の管理職は、平成28年10月に「イクボス宣言」を行い、職員の働き方改革を推進しているところである。また、県教育委員

会でも県立学校の校長が同年同様の宣言をした。

- こうした動きは、民間企業を含めて県内外で増加している傾向にあり、本市でも小中学校長が自ら宣言することで、教職員の多忙化解消をさらに推進し、実効性のある取り組みを進めてほしいと考えている。

(2) 学校閉庁日の設定

- 文部科学省は昨年12月末に、教員の働き方改革を進めるための緊急対策として、教員が有給休暇を取得できるようにするため、夏休みなどに学校閉庁日を一定期間設けるようにした。
- 本市では、教職員が学期中の授業日に休暇を取得しにくい状況を鑑み、夏季休業中に年次有給休暇や夏季休暇を学校全体として取得できるようにするため、今年からお盆の時期に学校閉庁日を設けることにした
- なお、保護者にも学校をとおしてお知らせするとともに、学校閉庁期間における急な児童生徒の事故などの場合は、管理職の緊急連絡先を保護者に連絡するなどして適切な対策を取ることにしている。

○委員（中野 信男）

吉田高校サポート協議会準備委員会について、現在、どういう状況なのか分りにくい。開示もされていると思うが、どう動きつつあるのか、どういう方向に向かっているのかが見えない。

○学校教育課長（堀 克彦）

3月26日に準備委員会を開催させていただき、これまでの経過とこれからの日程の説明を行った。今後については、5月下旬を目途にサポート協議会の会長に入っていただき、今年度の取り組みについて説明を行いたい。

○委員（中野 信男）

決まっていないので公表されないのだと思うが、途中経過でも教えてもらえれば、市民の協力が得られるのではないかと。

○教育次長（山田 公一）

4月以降にサポート協議会の会員募集の段階に入るので、その前後で方向性を周知したいと考えている。

(3) 寄附報告

6件の寄附報告について

〈No.1、3について白井子育て支援課長が説明〉

〈No.2、4、5について堀学校教育課長が説明〉

〈No.6 について宮路社会教育課長が説明〉

4. 専決処分の報告について

報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

9 件の後援について

〈No.1、3、6、8、9 について宮路社会教育課長が説明〉

〈No.2、4、5、7 について堀学校教育課長が説明〉

5. 議案

議案第 8 号 燕市教育行政評価委員の委嘱について

議案第 9 号 燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について

議案第 10 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 11 号 燕市立学校教職員安全衛生管理規則の一部改正について

議案第 12 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 13 号 燕市立小中学校における事務長および事務主任の任命について

〈堀学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 8～13 号は原案通り議決された。

6. その他

(1) 平成 30 年第 1 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 平成 29 年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）の概要について

〈堀学校教育課長が説明〉

2) 一般質問の概要

〈山田教育次長が説明〉

(2) 平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要について

〈大井指導主事が説明〉

7 閉 会 午前 10 時 21 分

教 育 長 仲 野 孝 _____

会 議 録 署 名 委 員 秦 久 美 子 _____

会 議 録 調 整 者 矢 川 麻 里 子 _____